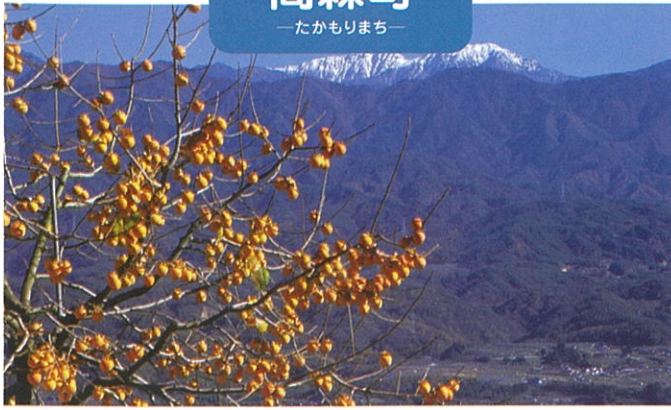


TAKAMORI TOWN

高森町

—たかもりまち—



子育て支援に取り組む 「市田柿発祥の里」へどうぞ!

高森町は天竜川の西側に広がる河岸段丘の町です。河岸段丘の高低差を利用して北の作物、南の作物が栽培され、農地と住宅が点在する中で果物、野菜、米などが育ち、四季折々の姿を見せる景観が自慢です。中でも南信州の地域ブランド「市田柿」の発祥の地であり、秋～初冬にかけて市田柿を暖簾状に干す「柿すだれ」が風物詩となっています。程よい田舎として子育てしやすい日本の幸せタウンを目指して頑張っています。



TOYOOKA VILLAGE

豊丘村

—とよおかむら—



ふれあいしあわせ実感 うるおいの郷 豊丘村においてなんしょ!

天竜川河岸段丘の東側に位置する豊丘村。昼夜の寒暖差や西日を浴びて育つ果物の味は格別で、桃、ぶどう、梨、りんご、市田柿など果樹栽培が盛んな豊かな地域です。きゅうりと市田柿、アスパラガスと市田柿などの複合経営で新規就農を果たした先輩も活躍しています。平成31年度より地域おこし協力隊制度を活用した農業研修制度も開始しました。豊丘村は意欲ある就農希望者を全力でサポートします。



OSHIKA VILLAGE

大鹿村

—おおしかむら—

南アルプスと歌舞伎の里

日本で最も美しい村連合に加盟していて、美しい環境を維持しています

HIRAYA VILLAGE

平谷村

—ひらやむら—

子どものための小さなリゾート

長野県で一番人口が少ない村。年間30万人の観光客が訪れます。

URUGI VILLAGE

売木村

—うるぎむら—

ふるさとの原風景が残る村

様々な交流・イベントが盛んで、人口の35%に近い200人が移住者です。

※上記3村は、南信州・担い手就農プロデュースに参画はしていませんが、移住定住事業を推進している南信州の仲間です。

南信州地域農業の特色



南信州は典型的な日本型農業が生き残る地域で、専業農業と兼業農業(第2種兼業)が混在する農業エリアです。こんな中山間地農業地帯ですが、日本一が2つ! 梨の「南水」は南信州の農業試験場で誕生した品種で、濃密な高糖度と貯蔵性が高いのが特徴で、南信州が生産量ナンバー1!

もう1つが「市田柿」であり、国の「地理的表示保護制度」GI産品に登録された「市田柿」は干し柿の芸術品とも言われ、この地域でしかつくり出すことが出来ず、販売も出来ない地域の特産品です。国内はもとより台湾・香港では春節(旧正月)の人気贈答品となっていて、ASEAN地域(シンガポール・タイ・マレーシア・ベトナム)にも輸出され好評で、ヨーロッパでのプロモーションも開始しています。

古くは水稲・養蚕の産地であった南信州は、園芸産地として邁進してきました。野菜は果菜類を中心に施設園芸(ハウス栽培)が増

え、耕地面積が少ない環境から畜産業も古くから盛んであり、現在では肉畜(肉牛・肉豚)は県内有数の産地です。また飯田市は「人工栽培ふなしめじ発祥の地」で、南信州では施設栽培のきのこ生産も盛んです。専業農家だけでなく兼業農家(半農半X)が多い地域であり、このスタイルが地域農業の特色のひとつともいえます。

現在、南信州の農業生産額はおよそ250億円。農家の高齢化、担い手不足などにより生産額は年々減少しています。新たな農業者獲得による地域農業の維持、農業生産の増大を地域一丸となって目指しています。



市田柿のプロモーションビデオ

PV1「市田柿 ~日本古来のドライフルーツ~」
PV2「正月は二度来る!? 市田柿の挑戦」



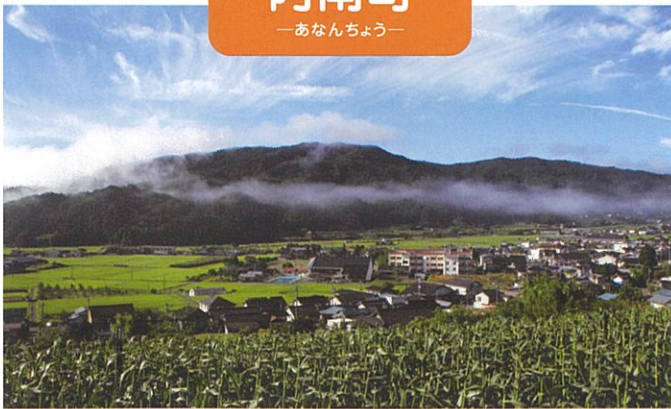
PV1

PV2

ANAN TOWN

阿南町

—あなんちょう—



のどかな風景 心地よい風 南信州 ANAN TOWN

のどかな風景が広がる本町では、景観を活かした水稲や季節野菜の露地栽培、沢山の施設栽培が行われています。

お米は、一般社団法人信州あなんトータルマーケティングが生産者の販路の受け皿となり、全国へふるさと納税の返礼品として発送しています。新規就農される研修から独立されるまでのご自身の将来ビジョンをお話ください。研修内容、空き家、農地、農機具、融資のあっせん等を必要に応じて対応いたします。



YASUOKA VILLAGE

泰阜村

—やすおかむら—



伝統と移住者をつなぐ場所 ときめきの郷 やすおか

標高330~770メートルと地勢が豊かな泰阜村では、多様な農作物の栽培ができます。村内に200戸以上ある農家で米やリンゴ、伝統野菜の源助かぶ菜などを栽培しています。農業生産法人として、「素人でもできる農業」をコンセプトにトマトと市田柿を生産する「ヌーベルファーム泰阜」があり、求人も行っております。移住後の生活や住居についても行政がしっかりサポートしているので安心です。興味のある方は気兼ねなくご相談ください。



JAの役割

南信州14市町村を管轄するJAが、JAみなみ信州、。協同組合原則である「相互扶助」の精神を大切にし、農業者と共に地域農業経済を支えます。

JAでは営農部が中心となり、営農事業(農業を営むすべて)の3本柱である「指導・販売・購買」の事業に取り組んでいます。特に営農技術指導部門はJAの根幹・使命であり、JAみなみ信州では総勢約80名の営農技術員(営農指導者)を各部門に配置し、農家組合員への専門的また総合的な技術・経営指導をおこなっています。

販売部門では、農家組合員が生産した農産物を全国各地の市場・販売店へ流通させる役割を果たしています。農家組合員から出荷された大切な農畜産物を1円でも高く販売し、農家手取り向上に向けての戦略を築き販売しています。営農技術指導部門と連携し、市場からのニーズに応えられる産地づくりに日々取り組んでいます。

営農事業の3本柱
営農三位一体



指導 (栽培管理指導から⇒販売) = より高度で高品質

販売 (1円でも手取りを上げる) = より多く・より高く

購買 (農業資材全般を効率よく) = いかに良質・安く

農家総合支援 = 担い手支援室

your enjoy life

